

三鷹市立第六小学校（2年目）

【校長】 藤原 和彦
【児童数】 733 名
【学級数】 27 学級



次の取組へ

【課題・改善】

- ＜保健面の取組＞
- ・家庭との連携が欠かせないため、今後も密に連携し継続した指導を続ける必要がある。
 - ・学んだことを自分の生活にどのように結びつけるか、さらに思考を深められる時間になるといい。
- ＜食育面の取組＞
- ・学習課題が多様であるため、話し合いをより充実させるよう、意図的なグループ編成が重要である。
 - ・学習課題を調べる際は、インターネットだけでなく、実地調査やインタビュー等の体験を取り入れたい。
- ＜運動面の取組＞
- ・子供一人ひとりの実態や学習状況を的確に見取り、教師がどのように働きかけるか、検討する必要がある。
 - ・「楽しい」から「技能」への結び付け方が難しい。「どうしたらできるかな？」という揺れも楽しさになる。

- 目標
- ・ライフデザインを考えることのできる児童の育成
 - ・食への関心をもつ児童の育成（80%以上）
 - ・児童が主体的に関わることのできる常時活動の構築（90%以上）

【成果】

- 保健・食育・運動の3本柱を主軸にした取組を継続
- ＜保健面の取組＞
- ・学習課題を自己選択、自己決定できる場面を意図的に設定し、学びを自分事とすることができた。
 - ・それぞれの「好き」や意見を否定しない雰囲気をつくることで、他者を認め合う様子が見られた。
 - ・健康フォーラムの開催 初回から第6回までの参加者は延べ400名を超えて様々な健康課題をテーマにし、保護者や地域の方々と一緒に考えることができた。
- ＜食育面の取組＞
- ・体験的な学習を行うことで、食への興味を高め、学習に主体的に取り組むことができた。
 - ・栄養士や養護教諭との連携を行うことで、学びの視点を広げることができた。
- ＜運動面の取組＞
- ・魅力的な場が設定されたことで、子供たちが夢中になって遊び、運動しているような世界観だった。
 - ・自己調整をし、自分で課題を選択している様子が見られた。

【実態・課題】

- ・生活・保健：養護教諭と担任の保健指導により児童の生活習慣や保健に関する興味関心は高まっている。さらに、家庭や地域と連携して自己の生活に活かすことができることを目指したい。
- ・食育：自校給食の良さを活かし栄養士との連携を図っている。一方で残食量は一定量あり減少傾向ではない。食への関心を高め、健康やよりよい成長を考えた食事を促す必要がある。
- ・運動：昨年度2月アンケートでは、体育の授業では「進んで学習していない・あまり進んで学習していない」と答えた5年児童が、男児で3.0%、女児で11.3%いる。

【取組】

- 保健・食育・運動の3本柱を主軸にした取組
- ＜保健面の取組＞
- ・研究授業（保健領域）を設定し、授業改善。
 - ・自分の健康状況を記録する取組（保健委員会等）
 - ・健康教育として他教科（家庭科、学活、道徳、総合的な学習の時間、教育活動全般）に位置づける。
 - ・健康フォーラムの開催 健康に関する課題について授業・講演を通じて、保護者・地域と共に考える。
- ＜食育面の取組＞
- ・研究授業（食育領域）を設定し、授業改善。
 - ・系統性を構築。
 - ・年間の活動（学期に1回おにぎりの日）や食育週間を設定。
- ＜運動面の取組＞
- ・研究授業（体育科）を設定し、授業改善。
 - ・体活運動（六スポ）や運動を日常化する活動のレベルアップ
 - ・オリンピック・パラリンピック・アスリート派遣授業を設定し、運動への興味関心を高める。

【取組（詳細）】

授業だけでは終わらない教育活動
子供の日常に溶け込むように

六スポ

月に1回程度実施する体育的活動（通称「六スポ」）。音楽をはじまりの合図に、子供たちは各運動場所に散っていく。6年生は1年生を迎えに行き、高学年が中心となって、たて割り班を運営している。
運動遊びの種類は全18種類。雨天日（暑熱日）パーションは場所を工夫して実施した。
令和7年度からは、6年生がみんなが楽しめるためにはどうしたらよいかを考え、主体的に運動遊びを工夫できるようにした。

おにぎりの日

学期に1回実施する「おにぎりの日」。この日の給食は、いつもと違う。自分だけのオリジナルおにぎりを作るために、子供たちは家から好きな具材を持ってくる。ごはんの中心にくぼみを作って、持ってきた具材と心を込めて、自分で握る。形も大きさも自由。大事なのは楽しく、おいしく食べること。具材を忘れてしまった時は、給食の焼き魚や野菜を入れても大丈夫。いつもは残りがちな白いごはんも、この日の食缶は空っぽに。

学校農園

食育では、食べるだけでなく、食材を育て、調理する過程の経験も大切にしてきた。学校から徒歩5分ほど離れたところにある学校農園に行き、ぐんぐん育つことを願って種まきをしたり、大きく育った食材を収穫したりした。自分で育てた食材には、愛着がわき、「どうやって食べたらおいしいだろう？」と想像しながら、家に持ち帰ることを楽しみにしている姿が見られた。

健康フォーラム

令和6年度

- Vol.1 「うわべじゃない！ゲーム依存」
久里浜医療センター医療福祉相談室長 前園 真毅 様
- Vol.2 「足が変われば明日が変わる！足育のすすめ」
JES日本教育シューズ協議会 理事 武原 充宜 様
- Vol.3 「子どもの睡眠 これ改善！よい眠りとは」
江戸川大学 特任教授 福田 一彦 様

令和7年度

- Vol.4 「今だからこそ知っておきたい！運動と発育発達」
本校 校長 藤原 和彦 様
- Vol.5 「目からウロコ！アイケア・スキル」
(株)メニコン 学術教育研修部 植木 千香子 様
- Vol.6 「折れない心ってどう育てる？ライフスキル」
神戸大学 名誉教授 川畑 徹朗 様
- Vol.7 「ずっと笑顔でいるために」
オリンピック金メダリスト 吉田 沙保里 様

フットサルプレイヤー
三鷹市立第六小学校
富田 芽依さん



2024.06.20
2025.06.23

フットサルプレイヤー
井上 潮音さん



2024.12.19
2025.12.18

オリンピック
レスリング・フリースタイル
金メダル
吉田 沙保里さん



2026.02.14

2025.10.30



2013FINA
チーム・コンピネーション4位
杉山 美紗さん

2012ロンドンパラリンピック
男子5位入賞
花岡 伸和さん



2024.12.20
2025.12.22

トップアスリートとのふれあい
体を動かしながら考える 夢・希望・人



- 東京サントリー
サンゴリアス 所属
- ・平 浩二さん
 - ・鈴木 徳一さん
 - ・津久井 信介さん
 - ・長友 泰憲さん
- (写真左から)



2025.10.01